

シグマ研究委員会
FP核データワーキンググループ サブグループ会合議事録

日 時 昭和 54 年 7 月 20 日 13:30 - 17:30
場 所 原研本部 第 22 会議室
出席者 五十嵐, 菊池(原研), 渡部(川重), 松延(住友),
吉田, 飯島(NAIG), 山室(東工大)

配布資料

1. STEK 反応度データによる FP ファイル積分テスト結果図
2. CFRMF 反応率データの解析結果

議 事

1. 積分テスト結果についてのまとめ

配布資料および微分測定値と JENDL FP ファイルの比較図に基づいて個々の核種について検討した。今回の検討の対象は、次のものである。

Nb-93, Mo-95, 97, Tc-99, Rh-103, Ru-101, 102, 104, Pd-105,
Ag-109, I-129, Xe-131, Cs-133, Nd-143, 145, Sm-147, 149

結論として、Nb-93, Mo-95, 97, Ag-109, Xe-131, Cs-133, Nd-143, Sm-147, 149 については計算値と測定値と良く一致、乃至は略一致している。Tc-99, Ru-101, 102, Pd-105, I-129 については可成りの喰違がある。Rh-103 では計算値の自己遮蔽因子を調べ直す必要がある。

2. 今後の作業

今年 12 月 12 - 14 日に Bologna で FP 専門家会議が予定されており、提出論文の内容予定とその作成に伴う作業について検討した。主な分担は次のようである。

- (1) 積分テストについて、Rh-103 自己遮蔽因子のつめの計算、反応度のエネルギー成分の作成、Pu, U, B-10 反応度の計算(渡部, 飯島)
- (2) $\sigma(n, \gamma)$ の最近のデータを NESTOR に格納、比較プロット(松延)

(3) Nd, Sm アイソトープについて再評価

光学模型パラメタの決定 (五十嵐)

レベル密度パラメタの決定 (吉田, 飯島)

統計理論計算 (関根, 菊池, 飯島)